

令和6年度
地域密着型DX支援事業
伴走支援事業

株式会社
都 亭

企業の課題を抽出し、
目指す姿を明確にする。
DX支援事業を活用し、
戦略策定を。



都亭の明るい未来のため、
まずはDX導入に向けた
現状把握から始めました

導入企業



株式会社 都亭

代表取締役社長

くどう かつや
工藤 勝哉

〒016-0825

能代市柳町9-23

TEL:0185-54-2244

FAX:0185-54-2247

<https://plazamiyako.com/>



ホームページ

無駄な作業をなくし、効率の良い事務作業を

能代市の柳町商店街にある「プラザ都」を運営する株式会社都亭。創業は明治29年、その歴史は料亭から始まる。昭和27年に法人格となり、現在は館内にある多目的イベントホールや飲食店などの運営を行っている。複合的な宴会場は、結婚披露宴や大小宴会、仏事などで地元の人々に活用されてきた。

これまで、予約台帳や伝票はすべて紙で管理し、事務も手作業で行ってきた。世間がデジタル化に向かう中、同社としてもいよいよDXを進めるべきではないかと検討を始めた。一番の目的は従業員減少に対する組織改革。活性化センターの「地域密着型DX支援事業」を活用し、東光コンピュータ・サービス株式会社による導入支援が始まった。

働きやすい職場づくりも視野に入れる

支援担当の大宮さんは、はじめに課題を浮き彫りにする作業を行った。一か月ほど同社の業務内容や全体の流れを観察し、経営者や従業員からの聞き取りやディスカッションなどを経て、明確になったのは「都亭の明るい未来を描きたい」という思いだった。この思いを実現するため、DX戦略を策定し、「DX取組宣言」として言語化した。

今後は宣言に基づき、まずは予約台帳のシステム導入を予定。単なる予約のスケジュール管理のみならず、顧客からヒアリングした情報を共有する機能も搭載し、新たな施設活用の可能性を広げていく予定だ。工藤社長は「DX導入で現場の課題を解決し、従業員が働きやすい場所へと変えていきたい」と意気込みを見せてくれた。

伴走企業



東光コンピュータ・サービス
株式会社

執行役/戦略ビジネス推進室

ITコーディネータ

おおみや ただかず
大宮 忠和

〒011-0942

秋田市土崎港東2丁目11-40

TEL:018-880-3155

FAX:018-880-3156

<https://www.tcs.tokogrp.co.jp/>



ホームページ



より多くの方に知ってもらうため
Instagramも開設。



宴会場の中で最も広い「樹海の間」。
約350名が着席できる。



DX取組宣言は
同社ホームページに掲載している。